

「第1回スヌーズレン研修会（12月21日）の感想」（ その一部をご紹介します。）

- ・基礎的なお話を聞くことができ、新たな気づきがありました。
職場に戻ってからもできることをやってみようと思いました。
器材にこだわらず、手作りのものも検討していきたいです。
- ・スヌーズレンがどこで生まれたのか、どうして生まれたのか、また歴史や理念を聞くことができました。書籍を読まないと、上づけのみの知識では不十分だろうと感じました。紹介していたただいた書籍をまずは読み込もうと思います。今後現場で活用していくためにも、自己研鑽に励みたいと思います。ついつい即実践できるように、「具体例」や「ヒント」をほしがる傾向にある自分を反省したのでした。スヌーズレンに関する知識を得ようとするやる気スイッチを押して下さりありがとうございました。
- ・スヌーズレンを行うに際して、必要な器材等の要件が知りたいと思い参加しましたが、利用者がリラックスできる環境（部屋・エリア）の用意が必要であると理解できました。
- ・知らなかったスヌーズレンについて、理解が少しえきました。今の職場の放課後ディは時間的な制約があって、実現が少し難しい所もあります。環境づくりは少しずつ進んでいます。児童と一緒に経験していくことを増やせるような形を作りたいと思います。

スヌーズレンについて、一度しっかりと理論やしくみを学びたいと思い、10年以上経っていたので、良い機会になりました。こうすればスヌーズレンだというものではなく、理念に沿って利用する人のオーダーメイドを作り上げる姿勢が必要なのだと感じました。なかなかしっかりとスヌーズレンを学ぶ機会が九州ではなかったので、ありがとうございます。

※このスヌーズレン研修会は、皆様のスヌーズレンの基礎理解を深めていた
だく機会として、連続講座を今後も定期的に開催していくので、どう
ぞご参加下さい。

情報交換会の様子

いよいよ九州の地で、スヌーズレンの研修会と資格認定の事業が本格的にスタートしました。

